

令和 7 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	9	学 校 名	富士特別支援学校富士東分校	記 載 者	鈴木 耕輔
------	---	-------	---------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア 守 る	安心・安全な教育 環境の整備	・学習環境を整え、安全に学習活動を行っている。	A	A	- あらゆる場面で、生徒の安心・安全を十分配慮されている。 - 限られたスペースを有効利用している。 - 事故なく活動できたことが何よりだと思う。整理整頓（3T 定位・定品・定量）の考え方も浸透すると良い。
	生徒自らが命を守る行動力の育成	・学習を通して、生徒自身が緊急時にとるべき対応が分かり、命を守る行動ができるようにしている。	A	A	- 富士東高校と合同で行っている避難訓練などからも、きめ細やかな指導をされている。 - 外部講師を活用した学習は効果的である。 - 訓練は訓練だが、体験していることとしていないのでは、雲泥の差がある。危機感は様々な経験に基づくものなので、なかなか通じないと思うところもあるが、粘り強く伝える事だと思う。
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯・緊急体制の充実	・教職員が緊急時にとるべき対応を理解し行動できている。	A	A	- 誠実に取り組まれている。 - 複数の不調者が同時にした場合の緊急時対応訓練も実施したい。 - 教職員がとるべき対応については、「起きてからでは遅い」という感覚こそ、都度、教職員に伝える事が必要。
	自分や人を大切に し、感謝の気持ち をもって生きる心 の育成	・学習を通して、生徒が他者を尊重する行動がとれるよう支援している。 ・生徒が主体的に生徒会活動等に取り組み、自治的能力が高まる環境を作っている。	B	A	・常に生徒に寄り添った指導、支援をされていると感じる。厳しい自己評価から、先生方の目標の高さがうかがえる。 ・今年度大切にしている「ホスピタリティ」の成果がどのように表れるか、今後に期待したい。 ・1分間スピーチで、一人一人が日々感じていることを話すことで、他者の考え、思いなどを知ることができるのではないか。

様式第5号

					本日の授業参観で評価できた。 ・ B評価とされた思いはあろうかと思うが、「場」があるということだけでもとても高い評価をつけたい。より高く、という目標は当然あろうかと思うが、経験しているとしていない、では雲泥の差があるかと。学校や先生方の「焦り」はないか？
	表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	・ 音楽や美術等の表現する喜びが高まり、生徒が進んで活動に取り組む環境を作っている。	A	A	・ アーティストの方との交流など、生徒が様々なものに触れると同時に、自らも表現する場面を作っていると思う。
イ 育 む	健全な心身を育む活動の充実	・ 学習を通して、生徒が自らの心身の健康に関心をもち、知識・技能を身に付けるとともに主体的に活動に取り組むようにしている。	A	A	・ 様々な学習活動を通して取り組まれている成果が、生徒の日常の様子に表れている。 ・ この先直面するだろう様々なトラブルを予知することも、対処方法を身につけることもむずかしい。学生時代に、様々な問題にぶつかっても「解決できた」というしっかりとした根っこを作ることが大切だと思う。トラブルを避けるのではなく、トラブルこそ次の段階への第一歩、そう考えられるようになってほしい。そのためには、学校、教職員の心のゆとりこそ何よりも大切だと思う。
	生徒自身が、確かな学びを実感できる授業の充実	・ 生徒が「何を、どのように学び、何が身に付いたか」という確かな学びを実感できる授業をしている。	A	A	・ 一人一人に応じたきめ細やかな支援、指導をされていると思う。
	キャリア発達を促す教育の充実	・ 生徒が「主体者」として成長を実感し、今後について考えられるキャリア教育を行っている。	A	A	・ 外部とのつながりを大切にされていることで、様々な場面で生徒のキャリア発達を促している。 ・ 「マイキャリア」の学習は、分校として初めての3年生の貴重な言葉であり、後輩たちにどのように継承されるのか今後が楽しみに思う。 ・ 作業学習については、指導員の関わり方が大切だと思う。各学年に対する接し方、そして、何よりも作業の分析をしっかりとできていなければ、単なる精神

					論に終わってしまう。「仕事」をどのように分析するか？仕事人が人に求める力は何か？といった視点を教職員や作業に関わる指導者がもたなければならない視点だと思う。
	チームで学校運営に取り組み、心理的安全性が高く、働きがいを感じる職場づくり	・教職員は目標をもって協働しながら業務に取り組み、やりがいを感じている。 ・教職員は同僚間の風通しの良さを感じている。 ・教職員は教育公務員としての倫理観が高まっている。(不祥事ゼロの継続)	A	A	・富士東分校の先生方の日々の連携、チームワークを見習わなければと、常に感じている。 ・チームワークの良さはAであると思うが、不祥事がないことは当たり前のことと捉え、さらに上を目指す職員集団を期待している。
ウ つ な げ る	高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業	・生徒及び分校生と関わる人がお互いの良さに気付く活動を実施している。 ・地域で学ぶ機会を充実させ、生徒が知識や経験を広げる取組を行っている。	A	A	・富士東高校と様々な活動で交流いただき、感謝している。次年度以降も交流を深めていきたいと思っている。 ・東高の共生・共育委員会との協働は、高校生ならではの発想が感じられ今後の継続発展が期待できる。3年間の積み重ねを感じた。 ・毎回、本校との関わりを通して、若い世代の感性の豊かさに驚き、嬉しくなる。こうした取り組みや、若い世代の感性をもっともっと広がっていけばと切に願う。
	特別支援教育のセンター的機能の充実	・学校公開等、分校の取組紹介を通した近隣校への支援を行っている。	A	A	・富士東高校のケース会議にも御参加いただいた。今後も御助言いただければありがたい。
	家庭・地域・関係機関との協働	・生徒が校内及び地域で学び育つ様子や学習の意図を分かりやすく発信している。	A	A	・SNSによる情報発信で、日々の生徒の活動の様子を知ることができ、周囲とのつながりができていると思う。 ・インスタグラム等のタイムリーな発信は、興味が沸くもので効果的であった。フォロワー増加と生徒募集がリンクするような戦略も考えられないか。 ・「地域」には、生徒達が住んでいる「地域」もあるかと思う。卒業後、生活の基盤となる「地域」にも積極的な戦略があると良い。